

## 株主メモ

- **事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- **定時株主総会** 毎年6月開催
- **基準日**
  - 定時株主総会 毎年3月31日
  - 期末配当金 毎年3月31日
  - 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定め  
た日
- **株主名簿管理人  
同事務取扱場所**
  - 三菱UFJ信託銀行株式会社
  - 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
- **郵便物送付先**
  - 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
  - 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号(〒541-8502)
  - 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
  - ☎0120-094-777(通話料無料)
- **電話照会先**
  - 100株
- **単元株式数** 100株
- **公告方法** 電子公告とします。但し、事故その他やむを得ない事  
由によって電子公告による公告をすることができない  
場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
(公告掲載アドレス <http://www.with-us.co.jp/>)
- **上場証券取引所** 東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)

- **未受領の配当金について**  
三菱UFJ信託銀行の本支店窓口にてお支払いいたします。
- **株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について**  
株主様が口座を開設されている証券会社の窓口にお問い合わせください。
- **特別口座について**  
証券会社に口座開設をされておられない株主様の株式に関するお手続き  
は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にてお取扱いいた  
します。下記へお問い合わせください。  
(特別口座の口座管理機関)  
三井住友信託銀行株式会社  
(郵便物送付先)  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先)  
☎0120-782-031

ウィザスの情報は  
ホームページでもご覧になれます。



URL  
<http://www.with-us.co.jp/>



本 社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル  
TEL 06(6264)4200(代) FAX 06(6264)4210  
東京本部 〒105-0014 東京都港区芝1丁目5番9号 住友不動産芝ビル2号館5F  
TEL 03(6865)1900(代) FAX 03(6865)1917

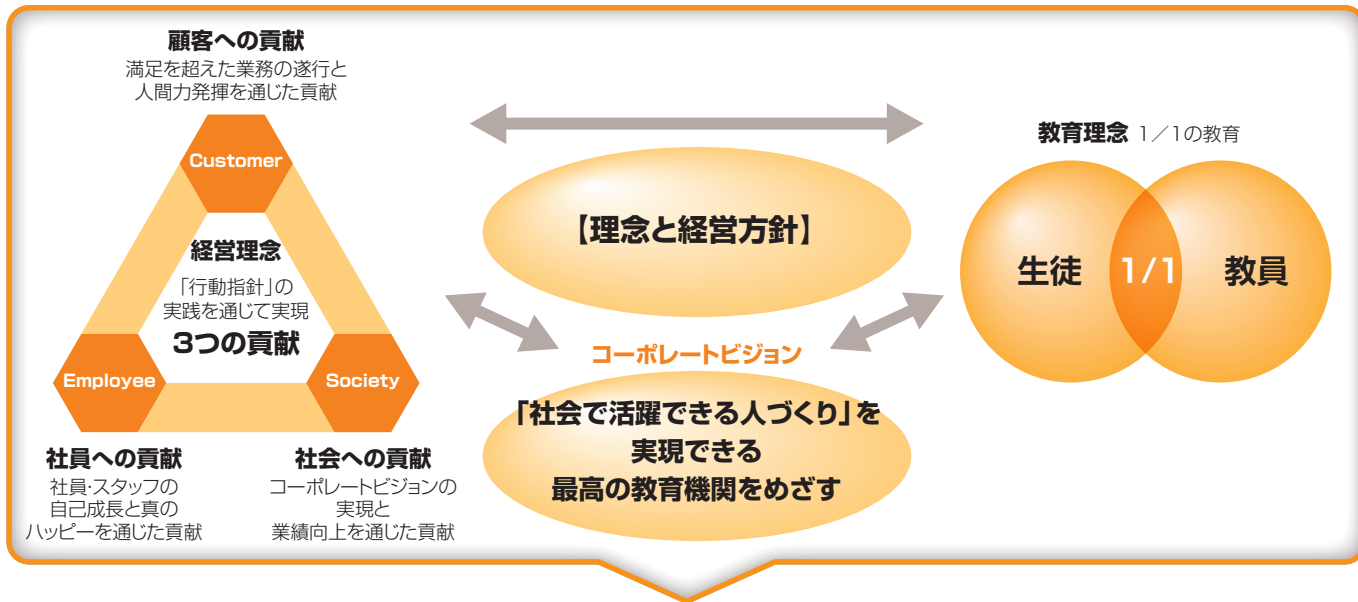
# With us Report

## 社会で 活躍できる 人づくり



第39期 中間報告書  
平成26年4月1日～平成26年9月30日





- | 学習塾事業  | 高校・キャリア支援事業  | その他  |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来を見据えたキャリア教育への転換</li> <li>● 内発的な意欲喚起による学力向上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 体験学習重視の高校を運営</li> <li>● 高卒資格取得と進路支援</li> <li>● 「大学受験」から「将来設計」まで年齢を問わずトータルに指導</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ICT教育事業</li> <li>● グローバル人材育成事業</li> <li>● 能力開発事業</li> <li>● 企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業</li> </ul> |



## ごあいさつ

Top Message

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに当社の第39期(2014年度)中間報告書をお届けさせていただきます。  
ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

## 5つの戦略の推進により、 さらに魅力あるサービスを展開し、 競争力を強化してまいります。



代表取締役社長  
生駒 富男

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の金利引き上げ観測から引き続き円安が進行し、輸出関連をはじめとする企業業績が改善しております。しかしながら、個人消費におきましては、消費税増税後の駆け込み需要の反動減や夏場の天候不順なども加わり、消費の回復が遅延している状況にあります。

当業界におきましては、少子化傾向の継続する中、消費者の節約志向は依然として強く、経営環境は楽観視できない状況が続いており、顧客獲得競争がますます激化しております。

このような中、当社グループでは競争力強化のため、「独自のEMS(意欲喚起)教育に基づく顧客満足度の向上」、「地域社会に密着した体験型実学教育(コミュニティ共育)の提供」、「グローバル人材育成」、「ICT教育の推進」、「速読を中心とした能力開発ビジネス拡張」の5つの戦略に引き続き取り組みました。

なお、当社グループの収益構造は、新年度開始となる4月の生徒数が通期で最も少なく、その後増加していくことや夏・冬・春の季節講習会時に売上高が通常月以上に増加することに加え、

上半期は固定費や広告宣伝費の先行投資的費用が発生するため、季節的な収益変動要因がありますものの、経営効率向上のため、生徒数の増減に合わせ、適切な校舎面積と人員数への転換を進めるなど、全社あげての構造改革に努めた結果、売上原価が49億30百万円(前年同期比10.6%減、同5億86百万円減)、販売費及び一般管理費は14億37百万円(同4.3%減、同65百万円減)と大幅に減少し、売上高の減少をカバーしております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高は64億14百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益は46百万円(前年同期は営業損失4億31百万円)、経常利益は62百万円(前年同期は経常損失4億44百万円)、四半期純利益は67百万円(前年同期は四半期純損失3億87百万円)となりました。

株主の皆様におかれましては引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 放課後はパスポートなしで英語圏へ!!



和泉のぞみ野校・岸和田校12月開校



## 「目ざせ! 世界で活躍できる国際人!!」

ブルードルフィンス・アフタースクールは、週1回の英会話教室ではありません。小学校低学年を主な対象に、1日最大6時間、英語で過ごす学童保育です。

ますます進む国際化、英語必須時代に向け、外国人講師と日本人スタッフが英語の4技能(聴く・話す・読む・書く)を本格的に指導します。

登校した瞬間から帰るまでの間、英語で過ごし、コミュニケーション能力を高めていきます。



### ●5つの教育指針

#### 国際感覚を身につける

気後れなどが外国人との意思疎通の障害となりますが、青年期までに外国人と接した人は、このようなことが少ないようです。当スクールでは、ネイティブ講師とのふれあいを通じて異文化を理解し、国際感覚を育みます。

#### 自然な形で英語力を身につける

当スクールでは、発達著しい幼児期だからこそ、最適な学習方法と環境が重要と考えています。長時間「英語で学び、英語で遊ぶ」ことで、無理なく英会話を習得していきます。

#### 「称賛の教育」でセルフエスティームを育む

笑顔で褒めることで、子供たちのセルフエスティーム(自己有能感、自信)が育まれ、英会話能力向上へと結びつきます。当スクールでは、「称賛の教育」により、それらを高め、子供たちに明るさと力強さを育みます。

#### 豊かなコミュニケーション力を育む

子供たちは、集団生活の中で、社会的適応力の基礎となる生活習慣を身につけていきます。当スクールでは、様々なイベントで、周囲の人たちとの英会話コミュニケーションを体験させ、豊かなコミュニケーション力を育む指導を実践しています。

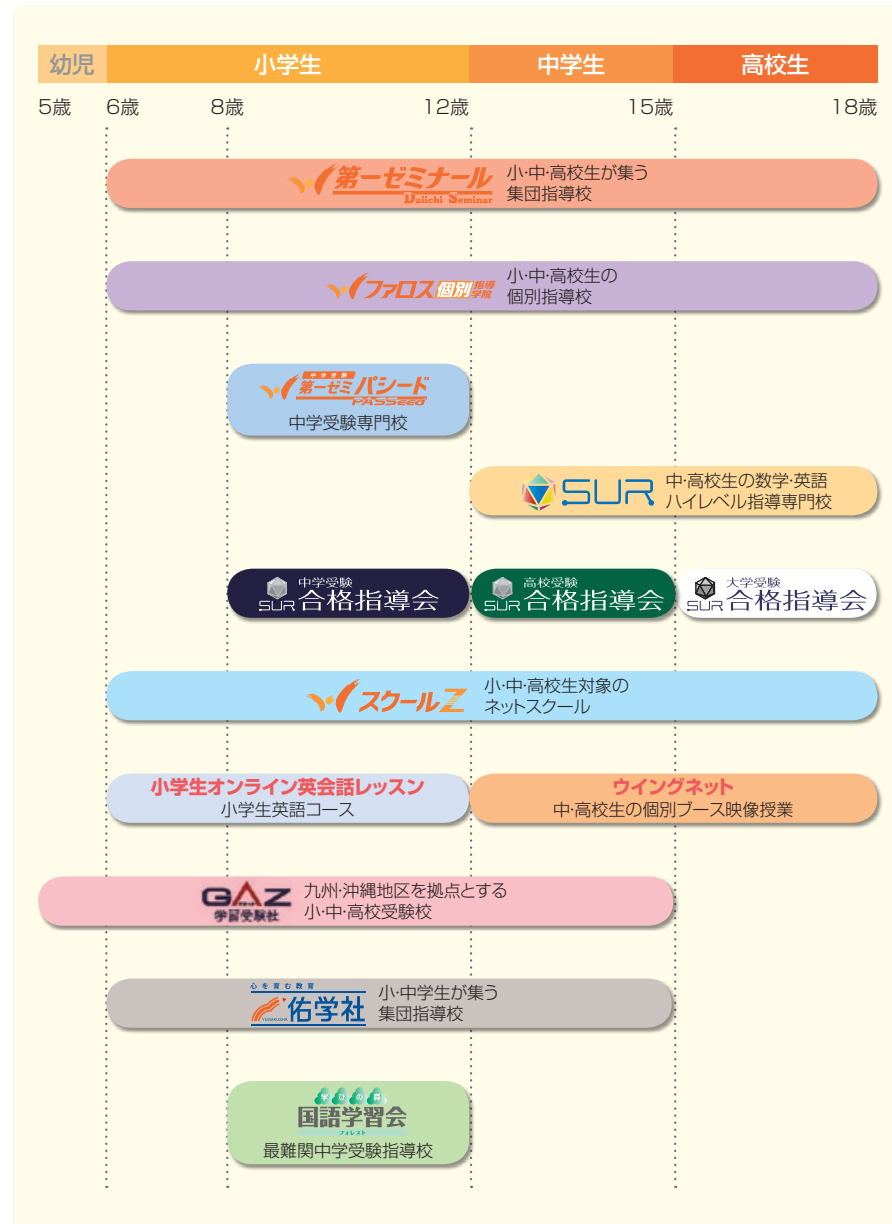
#### 一人ひとりの個性を育む

欧米では、個性にあわせた教育が重視されています。当スクールでは、長年にわたる幼児教育の経験に基づき、欧米型教育観を導入し、創造性や文章構成力、マナーや責任感を育みます。

## 学習塾事業

Coaching School Business

### 事業の概要



【主催】毎日新聞社 【共催】第一ゼミナール  
「新聞で学ぼう」親子特別講座



毎日新聞社の記者による出前講演と、第一ゼミナール社員のテーマ講演により、学習意欲を高める講座を6月22日(日)・29日(日)に開催いたしました。保護者の方や一般の方にもご参加いただける公開制とすることで、第一ゼミナールブランドのさらなる浸透を図ってまいります。

### 意欲喚起教育EMSの専用サイト開設



いまも未来も意欲が湧いてくる教育



脳研究の成果を活かして大きな成果を上げている第一ゼミナール独自の意欲喚起教育EMSについて、この度、より詳しくご理解いただけるよう専用サイトを開設いたしました。ぜひ一度ご覧ください。

## 高校・キャリア支援事業

A High School and a Career Support Business

事業の概要

### 高校事業

### キャリア支援事業



#### 第一学院高等学校

教育特区を活用した株式会社立の通信制高校



高萩校



養父校

全国にキャンパスを展開

#### キャンパスコース

全国に展開しているキャンパスにて学習・進路等の指導を実施。通学日数を選択でき、大学進学希望者のための映像授業カリキュラムも設定しています。



#### 通信コース

インターネット学習システムやDVD教材を使って自分のペースで学習。相談や質問もでき、自宅にいながら教室と変わらない学習環境を実現します。



#### 本校通学コース

第一学院高等学校 高萩本校(茨城県高萩市)、もしくは養父本校(兵庫県養父市)にて授業や体験学習を行っています。



#### スポーツコース

通信制高校の特色を活かし、学習時間とトレーニング時間をフレキシブルに確保。スポーツを通じた人間的な成長をサポートしています。



#### 第一学院高等学校 専攻科

高校卒業後通信教育で専門分野の知識とスキルを習得

#### 社会福祉コース

- 保育士専攻

#### 社会ビジネスコース

- 社会人基礎力専攻



#### 第一学院専門カレッジ

社会で役立つ資格取得と充実したキャリア支援

- 夜間や週末を利用した登校が可能。
- 専門学校と比較しても、低コストで経済的。
- 実務系プロフェッショナルな講師陣によるカリキュラムが充実。



#### 保育士コース

#### 実務者研修(介護)

#### 社会人基礎力養成コース

#### 第一学院高認予備校

国の実施する「高等学校卒業程度認定試験」合格に向けた指導を行う学校。映像授業を活用した通信講座で高卒認定試験合格を目指す。



### ～地域全体を「学校」と捉えた教育～ 「コミュニティ共有」

子供たちが「将来の自分」に夢と希望を持てるよう「自分に合った生き方や仕事への気づき」を促すための教育を支援します。



#### 【ジョブシャドウイング】(職場観察・仕事観察)

働く大人を観察して、将来の「働く自分」をイメージしていく。

#### 【夢授業】(しごと講話)

仕事の魅力や大変なことなど地域の方から直接話を聞く。

#### 【ボランティア活動】

地域に貢献する活動を通じ、「他者貢献」の大切さを知る。

### 第一学院高等学校 卒業生が活躍



(サンケイスポーツ提供)

当時のサッカー日本代表 香川選手・柿谷選手・酒井(宏)選手の母校として、第一学院高等学校 四ツ谷キャンパスでの「2014 FIFA ワールドカップ 日本 vs コートジボワール戦」(6月15日)の観戦の様子が、NHKの生中継で紹介されました。

## ICT教育事業

- インターネットを介した小・中・高校生対象の授業だけでなく、資格講座や語学講座等、職業・年齢を問わず品質の高い講座を提供しております。

- 法人向けe-ラーニングサービスを展開し、社員育成・能力開発教材コンテンツを提供しております。

## グローバル人材育成事業

- 幼児を対象としたネイティブ教員とのふれあいを通じて 国際感覚を養成する保育施設や、小学生向けオンライン英会話レッスンを展開しております。

- 世界で活躍できる人材の育成を目指し、中高生の留学支援など幅広い年齢層の育成を推進してまいります。

## 能力開発事業

- 能力開発「右脳速読講座」を全国教育機関に提供するとともに、企業や一般社会人向けコンテンツも制作・販売しております。

- キャリア教育コンテンツ“意欲喚起教育テキスト・映像教材(DVD)”を全国教育機関へ販売し、社会で活躍できる人づくりに貢献しております。

## これからの英語力を身につける



長文読解が苦手、時間が足りないという生徒の声、長文対策に十分な時間をとれていないという先生の声から、15年にわたる「速読」システムのノウハウを活かして新たな英語長文対策システムを開始いたしました。

長文中の「語彙」学習と「速読&スラッシュリーディング」でスピード力強化をしながら、「演習」を行い、バランスよくこれからの時代に求められる長文読解力の向上を目指します。



## 事業別概況

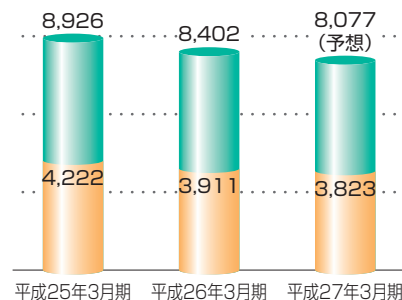
Segment Outline

(将来に関する記述等についてのご注意)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 学習塾事業

〈売上高の推移〉

第2四半期(累計) 通期 (単位:百万円)



独自の意欲喚起教育EMSと成績向上に柱をおいた指導に加え、ICTを活用した教育サービスの推進、対象高校に的を絞ったきめ細かいコースの設置、大阪市内の中学生在が対象の塾代助成事業への本格的な参画等を行ってまいりました。

なお、第2四半期末生徒数は前期末に12校の統廃合を実施した影響もあり、20,713名(前年同期比1.9%減)となりましたが、夏期講習での生徒募集が好調であったこともあり、対前年比で4月末時点の94.9%から9月末時点の98.1%と引き続き回復傾向となっております。この結果、売上高は38億23百万円(同2.2%減)となりました。

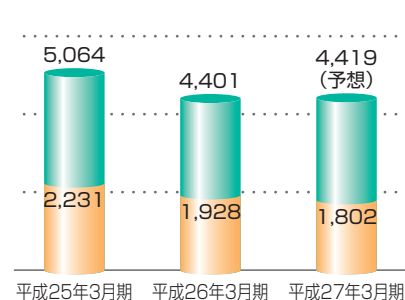


(注) 上記事業別の売上高に調整額は含んでおりません。

### 高校・キャリア支援事業

〈売上高の推移〉

第2四半期(累計) 通期 (単位:百万円)



当期より従来の高認・サポート校中心のサービス提供から通信制高校を主体としたサービス展開へ本格的に転換しております。

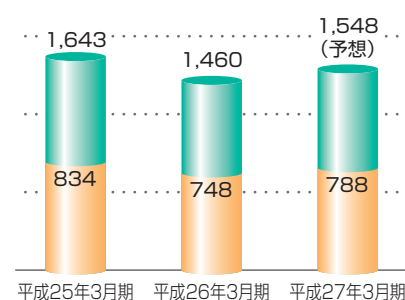
また、当事業においては、社会人を対象とした介護・保育・社会人基礎力育成等の資格取得講座を運営する「第一学院専門カレッジ」で今年度より設置しました介護実務者研修コースの伸張により、同カレッジの第2四半期末生徒数は1,401名(前年同期比99.3%増)と増加しております。しかしながら、従来設置しておりました通学型高認コースの廃止に伴い、当事業全体の第2四半期末生徒数は6,778名(同1.2%減)となり、売上高は18億2百万円(同6.5%減)となりました。



### その他

〈売上高の推移〉

第2四半期(累計) 通期 (単位:百万円)



主に、幼児英語教育事業、広告事業、能力開発事業および企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業に係る業績を計上しており、幅広い年齢層へのタブレットや携帯端末の急激な普及に伴う環境の変化と、企業・一般社会人向けへの速読をはじめとする能力開発やますます複雑化する国際情勢の中でのグローバル人材育成に対するニーズの高まりなどに対応した商品・サービス提供を推進してまいりました結果、売上高は7億88百万円(前年同期比5.3%増)となりました。



## 連結財務諸表(要旨)

Consolidated Financial Statements

### 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 平成26年9月30日現在	前期末 平成26年3月31日現在
流動資産	4,440,888	4,554,887
固定資産	7,757,114	7,951,066
資産合計	12,198,002	12,505,954
流動負債	4,947,229	4,891,589
固定負債	3,028,294	3,574,431
負債合計	7,975,523	8,466,020
純資産合計	4,222,478	4,039,933
負債純資産合計	12,198,002	12,505,954

### 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	前第2四半期連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	前期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高	6,414,222	6,588,021	14,264,992
売上総利益	1,483,949	1,071,104	3,294,673
販売費及び一般管理費	1,437,232	1,502,514	3,181,192
営業損益	46,716	△431,410	113,480
営業外損益	15,592	△13,099	△27,486
経常損益	62,309	△444,509	85,995
特別損益	30,667	△19,334	339,871
四半期(当期)純損益	67,831	△387,277	△40,773

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	前第2四半期連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	前期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,118	△613,872	810,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,905	△313,003	926,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	521,824	1,247,551	△931,420
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	263,800	320,675	805,538
現金及び現金同等物の期首残高	3,278,033	2,472,494	2,472,494
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	3,541,834	2,793,170	3,278,033

## 株式情報・会社情報

(平成26年9月30日現在)

Stock Information / Corporate Information

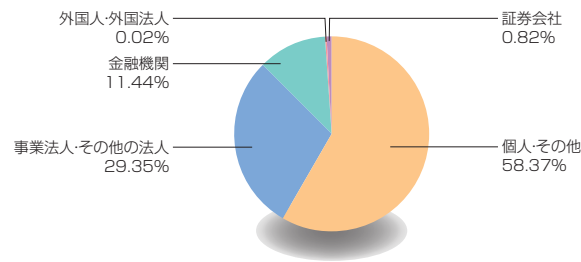
### 株式の状況

発行可能株式総数	44,760,000株
発行済株式の総数	10,062,272株
	(自己株式377,728株を除く。)
株主数	2,770名
大株主	

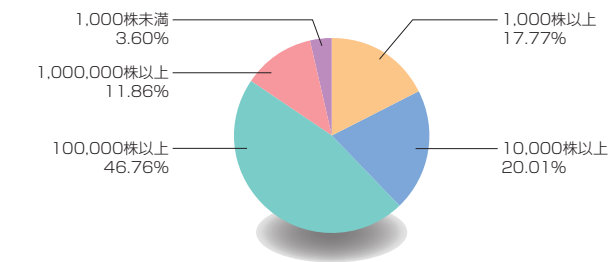
株主名	持株数	議決権比率
株式会社ヒントアンドヒット	1,238 千株	12.30 %
株式会社増進会出版社	626	6.22
ウィザス社員持株会	550	5.46
堀川直人	466	4.63
堀川明人	466	4.63
堀川一晃	271	2.69
株式会社明光ネットワークジャパン	267	2.66
株式会社みずほ銀行	267	2.65
株式会社市進ホールディングス	220	2.18
日本生命保険相互会社	217	2.15

(注1) 上記のほか、自己株式が377千株あります。  
(注2) 議決権比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別分布(持株比率)



### 所有株数別分布(持株比率)



### 会社の概要

商号	株式会社 ウィザス
代表者	代表取締役社長 生駒 富男
設立	昭和51年7月10日
資本金	12億9,937万5,000円
従業員数	528名(男409名・女119名) ※単体
事業内容	当社グループは総合教育サービス企業として、次の教育サービスを主たる事業として営んでおります。 ①幼児から高校生までを対象とする教科学習指導・進学受験指導並びに能力開発指導を行う「学習塾事業」 ②広域通信制単位制高等学校の運営および高等学校卒業程度認定試験(高認)合格のための受験指導を行う「高校・キャリア支援事業」
本社所在地	大阪市中央区備後町三丁目6番2号 KFセンタービル

主要取引銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社りそな銀行 株式会社紀陽銀行 株式会社池田泉州銀行
--------	---

### 役員

代表取締役会長	堀川 一 晃
代表取締役社長	生駒 富 男
常務取締役	井 尻 芳 晃
取締役	山 根 淳 市
取締役	竹 下 淳 司
常勤監査役	小 林 博 明
監査役	住 田 裕 子
監査役	若 松 弘 之

## ネットワーク・校舎展開

(平成26年9月30日現在)

Network

事業区分	所在地	拠点数
学 習 塾 事 業	大 阪 府	125
	京 都 府	2
	奈 良 県	6
	兵 庫 県	10
	和 歌 山 県	3
	岐 阜 県	4
	広 島 県	1
小計	7 府 県	151
高 校 ・ キ ャ リ ア 支 援 事 業	東 京 都	3
	千 葉 県	2
	神 奈 川 県	1
	埼 玉 県	1
	山 梨 県	1
	栃 木 県	1
	群 馬 県	1
	茨 城 県	2
	北 海 道	1
	宮 城 県	1
	秋 田 県	1
	岩 手 県	1
	新 潟 県	1
	福 島 県	1
	静 岡 県	2
	長 野 県	1
	富 山 県	1
	石 川 県	1
	愛 知 県	2
	岐 阜 県	1
三 重 県	1	
京 都 府	1	
大 阪 府	1	
奈 良 県	1	
兵 庫 県	2	
岡 山 県	2	
広 島 県	1	
愛 媛 県	1	
福 岡 県	2	
熊 本 県	1	
小計	30都道府県	39
そ の 他	大 阪 府	2
	兵 庫 県	4
小計	2 府 県	6
合計	31都道府県	196

※単体

